

卒業研究
アンケート結果報告書

1. アンケート調査の目的

孫と祖父母の関係性を育むためのアイデアを紹介し、日常生活での実践をサポートするサイトを制作するため、大学生を対象に祖父母との関係性を問うアンケート調査を行い、大学生のリアルな考え方や傾向について結果をまとめることを目的とする。

2. アンケート概要

内容：祖父母との関係性を問うアンケート調査

期間：2025 年 6 月 13 日（金）～2025 年 6 月 19 日（木）

対象：九州産業大学の大学 1 年生～大学 4 年生

3. 調査結果

回答者：114 名（男性：28 名/女性：83 名/回答しない：3 名）

【内訳】

大学 1 年生：39 名

大学 2 年生：27 名

大学 3 年生：26 名

大学 4 年生：22 名

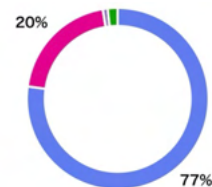
（1）回答者の所在について

- ・『実家暮らし』が約 8 割を占めている。
- ・『その他』では、祖母と一緒に住んでいるという回答も見られた。

3. あなたは現在、どのような形で暮らしていますか？

[詳細情報](#)

● 実家暮らし	88
● 一人暮らし	23
● 寮	0
● ルームシェア（友人、知人と同居）	1
● その他	2



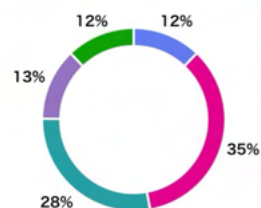
(2) 祖父母の所在について

- ・『福岡県内』、『九州（福岡を除く）』が、回答者の約6割を占めた。
- ・『一緒に住んでいる』、『すでに他界している』の割合も1割ずつ占めており、祖父母との距離が普段から近い人と、祖父母にもう会うことができない人が一定数いることがわかった。

4. 祖父母の所在について教えてください（複数回答可）

[詳細情報](#)

一緒に住んでいる	19
福岡県内	55
九州（福岡を除く）	44
九州以外	20
すでに他界している、または不明	19



(3) 祖父母との関係性

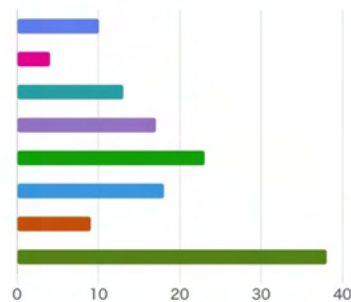
(ア) 会う頻度について

- ・上位3つの回答順は、父方、母方ともに同じ結果になった。
（『半年に1回』、『年に1回』、『2～3ヶ月に1回』）
- ・『すでに他界している』の割合も高く、父方の祖父母では一番回答数が多い。

5. 現在、父方の祖父母とどのくらいの頻度で会いますか？（複数回答可）

[詳細情報](#)

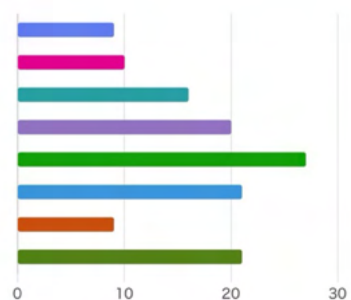
毎日	10
週に1回	4
月に1回	13
2～3ヶ月に1回	17
半年に1回	23
年に1回	18
最近は会っていない	9
すでに他界している、または不明	38



10. 現在、母方の祖父母とどのくらいの頻度で会いますか？（複数回答可）

[詳細情報](#)

毎日	9
週に1回	10
月に1回	16
2～3ヶ月に1回	20
半年に1回	27
年に1回	21
最近は会っていない	9
すでに他界している、または不明	21



(イ) 会うタイミング

- ・父方、母方ともに、お盆や年末年始を含む夏休みや冬休みで祖父母に会っている。

6. 父方の祖父母に会うタイミングはどんな時ですか？（複数回答可）

[詳細情報](#)



11. 母方の祖父母に会うタイミングはどんな時ですか？（複数回答可）

[詳細情報](#)



(ウ) 会う頻度の変化

- ・父方、母方の祖父母ともに、約半数が『減った』と回答している。

7. 父方の祖父母に会いに行く頻度は、小さいころと比べて変わりましたか？

[詳細情報](#)



12. 母方の祖父母に会いに行く頻度は、小さいころと比べて変わりましたか？

[詳細情報](#)



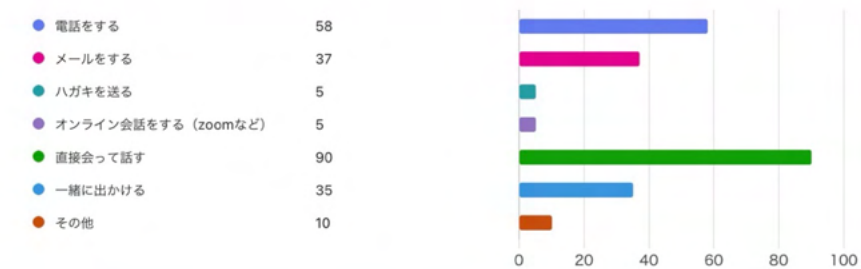
(4) 祖父母とのコミュニケーションについて

(ア) 普段のコミュニケーションの取り方

- ・『直接会って話す』『電話をする』の回答数が多く、祖父母と会話をしていることが多いことがわかった。
- ・話す内容は『学校のこと』が圧倒的に多く、『祖父母の話を聞く』という回答も多いことがわかった。

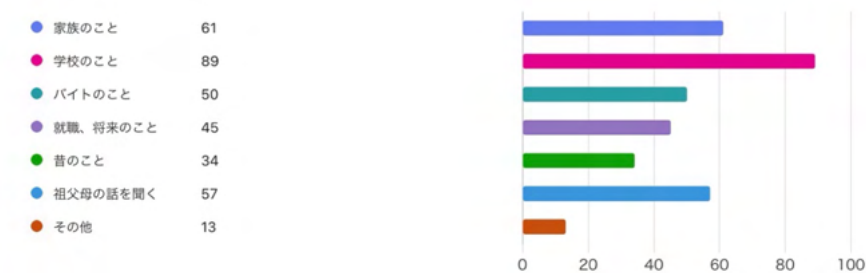
15. 普段、祖父母とどんなコミュニケーションをとっていますか？（複数回答可）

[詳細情報](#)



16. 祖父母と話す内容は何か？

[詳細情報](#)



(イ) 話しやすさの変化

- ・『変化なし』という回答が約7割を占めた。

17. 小さい頃と比べて、祖父母との話しやすさに変化はありますか？

[詳細情報](#)



(5) 祖父母としておけばよかったこと

(ア) 後悔したことがあるか

- ・約4割が『ある』と回答している。

20. 祖父母ともっと〇〇しておけばよかった（会っておけば、話しておけば）と後悔したことはありますか？

[詳細情報](#)

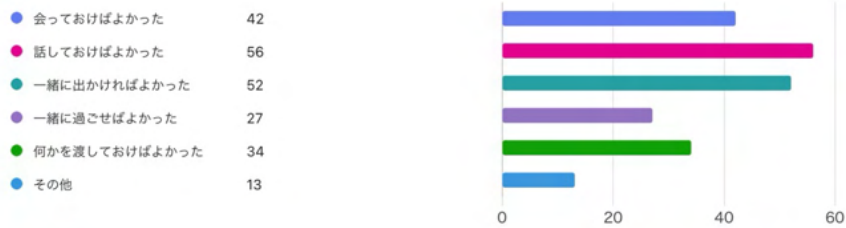


(イ) もっと〇〇しておけばよかった

- ・『もっと話しておけばよかった』という回答が一番多い結果となった。

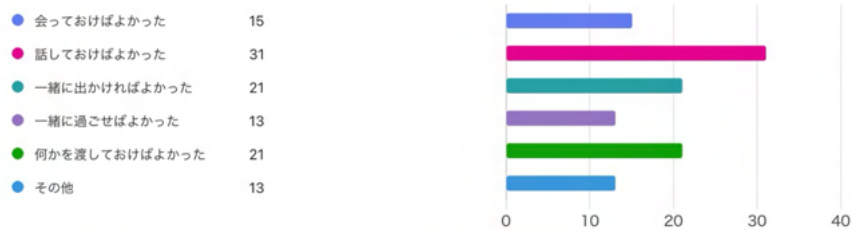
23. 祖父母ともっと〇〇しておけばよかった！と思うものを教えてください。（複数回答可）

[詳細情報](#)



24. その中で、特にしておけばよかったものを1つ選んでください

[詳細情報](#)



4. 回答理由からわかったこと

① 祖父母の会う頻度について

○回答理由（一部抜粋）

『増えた』と回答した人

- ・一緒に住んでいる、一緒に住むようになったから
- ・実家の近くに引っ越しをしてきたため
- ・祖父母が病気を患い、お見舞いの頻度が増えたから

『減った』と回答した人

- ・忙しくなって予定が合わなくなった。
- ・一人暮らしを始めたから
- ・祖父母の他界・施設・入院などで物理的に会えなくなった

— 考察 —

会う頻度が減った背景として、大学進学などで地元を離れたことが理由であることがわかった。学校、バイト、部活といった自分の忙しさに加え、兄弟の成長と共に、家族で集まる時間が取れなくなったことを回答している人も多くみられた。

また、祖父母の状況の変化が、会う頻度に影響していることもわかった。これは、祖父母の所在という調査で、『すでに他界している、または不明』の割合が高いことから考えられる。

② 祖父母との話しやすさの変化について

○回答理由（一部抜粋）

『話しやすくなった』と回答した人

- ・自分の年齢が上がり、会話がしやすくなったから
(話の話題が増えた(趣味。世間話等)、気軽に相談するようになった)

『話しにくくなった』と回答した人

- ・話の噛み合わなさに疲れるようになった(認知症、物忘れ、聴力の低下)
- ・大人になって距離感がわからなくなったから

— 考察 —

『変化なし』の回答が大半を占めたが、話しやすさに変化があった人も全体の2割を占めており、自分の年齢が上がったことによって話しやすさに変化が起きていることがわかった。

『話しにくくなった』の回答理由として多くを占めたのは祖父母の状態の変化が影響しており、距離感を掴めづらくなったのが一番の理由であることが読み取れた。

③ もっとしておけば良かったこと

【上位3つの回答】

1. 『話しておけば良かった』
2. 『一緒に出かければ良かった』、『何かを渡しておけば良かった』

○回答理由（一部抜粋）

『話しておけば良かった』と回答した人

- ・ もっと話を聞いておけばよかった（祖父母の経験・思い出・歴史）
- ・ 会話や関わりが少なかったから
- ・ 時間や健康の制約で話せなくなったから

『一緒に出かければ良かった』と回答した人

- ・ 体の衰えや病気により、もう出かけられなくなったから
- ・ 一緒に出かける機会がそもそも少なかったから
- ・ 思い出を作っておけばよかったから

『何かを渡しておけば良かった』と回答した人

- ・ 恩返し・感謝の気持ちを伝えなかったから
- ・ プレゼントした記憶があまりない／機会がなかったから
- ・ 思い出を形にしたかったから

— 考察 —

- ・ 『話しておけば良かった』と回答した人の理由の中で、祖父母の時代の暮らしや戦争体験、家族の歴史など、今しか聞けない話への後悔があった。
あまり話す機会がなかったこと、もっと普通の会話をしておけばよかったという回答も多く見られ、急な別れや認知症・病気により、話したくても話せなくなった状況を経験したことによる回答の傾向が見られた。
- ・ 『一緒に出かければ良かった』と回答した人の理由は、祖父母の健康状態の変化（足腰の衰え、車椅子、トイレの心配など）によって、今はもう気軽に出かけられないからという回答が多くを占めた。
また、日常的に一緒に過ごしていても、外出はあまりしてこなかったため、出かけていれば楽しい記憶や恩返しができたかもしれないという反省も見られた。
- ・ 『何かを渡しておけば良かった』と回答した人の理由は、たくさんのことをしてもらったのに自分からは何も返せていないという後悔が見られた。
また、渡した記憶が薄い、または渡すタイミングがなかったという理由も見られ、単なるモノではなく、記憶に残るような贈り物や行動（作品、写真など）で気持ちを伝えなかったという回答もあった。

5. クロス集計

以下の6つを比較し、回答結果の傾向があるか調査した。

(1) 性別×後悔したことがあるか

		後悔の有無	
		あり	なし
性別	男性	11	17
	女性	30	53
	回答しない	0	3

(2) 学年×後悔したことがあるか

		後悔の有無	
		あり	なし
学年	大学1年生	14	25
	大学2年生	7	20
	大学3年生	10	16
	大学4年生	10	12

(3) 性別×祖父母との話しやすさ

		話しやすさ		
		話しやすい	変化なし	話しにくい
性別	男性	1	25	2
	女性	13	57	13
	回答しない	0	2	1

(4) 性別×会う頻度

		会う頻度		
		増えた	変わらない	減った
性別	男性	1	11	16
	女性	4	36	43
	回答しない	0	2	1

(5) 学年×会う頻度

		会う頻度		
		増えた	変わらない	減った
学年	大学1年生	3	18	18
	大学2年生	1	10	16
	大学3年生	0	14	12
	大学4年生	1	7	14

(6) 祖父母の所在×大学生の所在

		大学生の所在				
		実家暮らし	一人暮らし	寮	ルームシェア	その他
祖父母の所在	一緒に住んでいる	17	0	0	0	0
	福岡県内	49	5	0	0	0
	九州	26	16	0	0	0
	九州以外	15	3	0	1	1
	すでに他界・または不明	13	4	0	0	1

— 考察 —

(1) 性別×後悔したことがあるか

- ・後悔の有無に関して、男女の結果に大幅な違いはなかった。
- ・後悔があると回答した人の割合が高かったのは男性で、約4割を占めた。

(2) 学年×後悔したことがあるか

- ・学年が上がるにつれて後悔したことがあると回答した割合が高くなっていることがわかった。

○後悔をしたことがある割合（学年別）

大学1年生：14名（35%）
 大学2年生：7名（35%）
 大学3年生：10名（38%）
 大学4年生：10名（45%）

(3) 性別×祖父母との話しやすさ

- ・男女ともに、話しやすさに変化がなかったと回答した人が多いが、話しやすいと回答した男性は1人（3%）であることがわかる。
 →男性の方が女性よりも話しやすさを感じていないことがわかった。

(4) 性別×会う頻度

- ・話しやすさと同様に、男女ともに会う頻度に変化がなかったと回答した人が多いことが読み取れる。
- ・会う頻度が減ったと回答した割合も男性の方がわずかに高いことがわかった。

○会う頻度が減った割合（性別）

男性：16名（57%）/女性：43名（51%）

(5) 学年×会う頻度

- ・話しやすさと同様に、男女ともに会う頻度に変化がなかったと回答した人が多いことが読み取れる。
- ・学年が上がるにつれて会う頻度が減ったと回答した人の割合が高くなっていることがわかった。

○会う頻度が減った割合（学年別）

大学1年生：18名（46%）

大学2年生：16名（57%）

大学3年生：12名（46%）

大学4年生：14名（63%）

(6) 祖父母の所在×大学生の所在

- ・実家暮らしの学生が多いことがわかった。
 - ・一人暮らしをしている人は、九州に祖父母がいる形が多いことがわかった。
- 一人暮らしを始め、祖父母との距離が遠くなったことを理由に挙げている回答が多くみられた。気軽に会いに行ける距離ではないことが原因だと考えた。